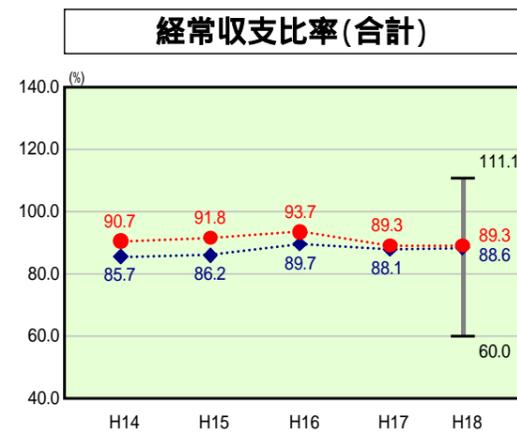


歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

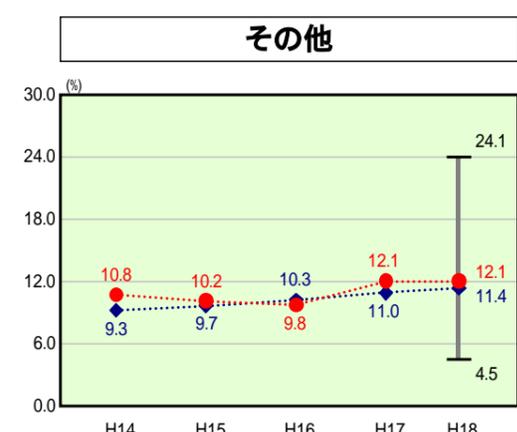
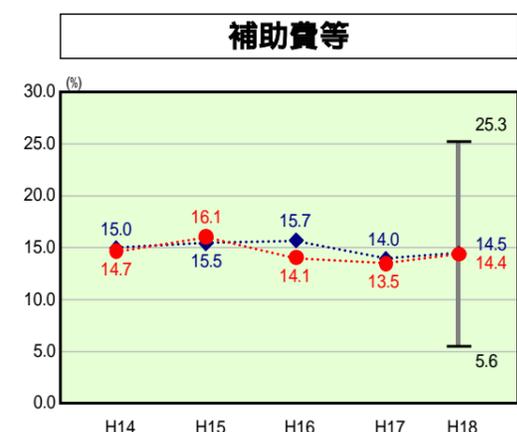
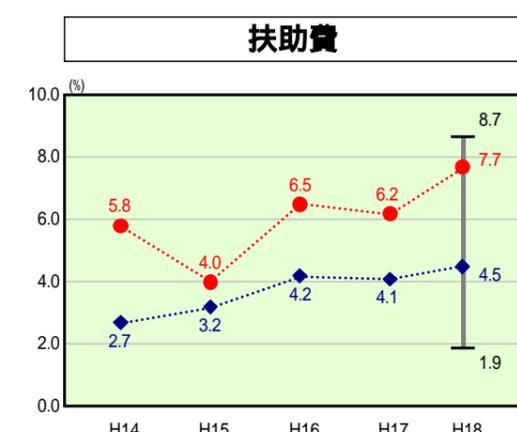
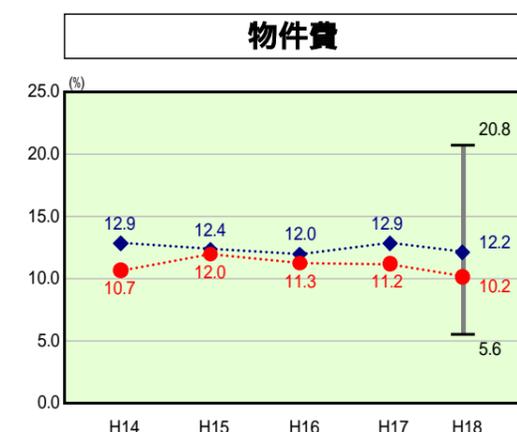
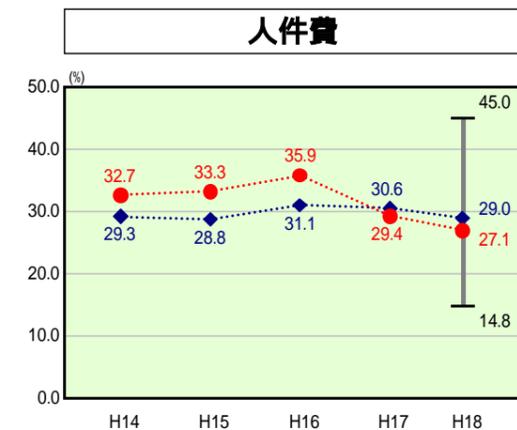
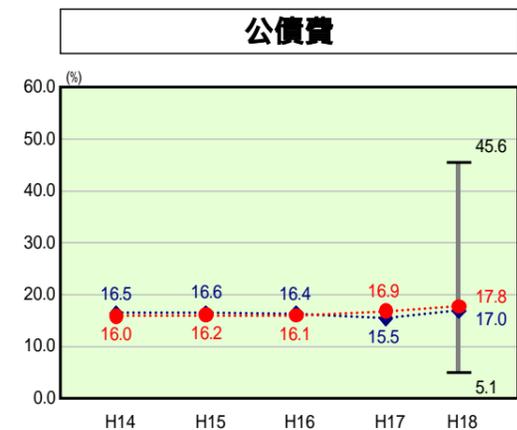
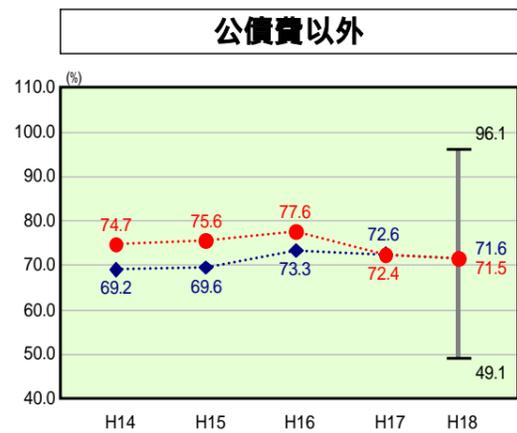
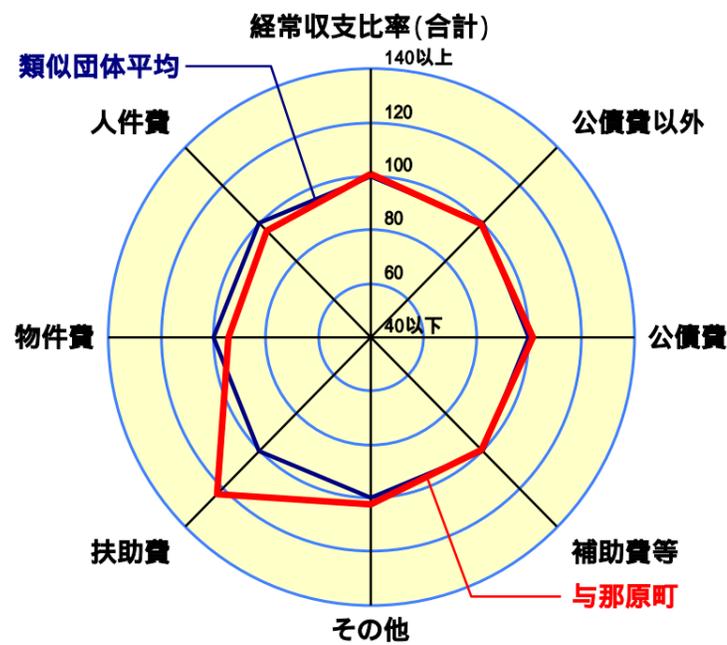
沖縄県 与那原町

経常収支比率の分析



当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 ▮
類似団体内最小値 ⊥

人口 15,687人(H19.3.31現在)
面積 5.02 km²
歳入総額 5,670,053千円
歳出総額 5,602,134千円
実質収支 44,861千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

レーダーチャートでも分かるように、扶助費以外の歳出については、類似団体平均と同等もしくは平均以下である。公債費以外において類似団体平均とほぼ同程度なのは、人件費・物件費の抑制分を扶助費の充てていると考えられる。

それぞれの歳出を比較分析

- ・人件費・物件費については、与那原町緊急財政健全化計画及び集中改革プランに沿って、定員管理、給与の適正化、臨時職員や需用費の減に努めているため類似団体平均を大きく下回っている。
- ・扶助費については、社会福祉費、衛生費の医療費助成事業、児童福祉費の保育所運営費負担金、老人福祉費の日常生活用具給付金、教育費の就学奨励費などがあるが、主に保育所運営費負担金が大幅に増大したため、類似団体平均の乖離幅も増大した。
- ・公債費については、埋立地域の整備事業への償還が始まり徐々に増加しつつある。
- ・補助費等については、消防、清掃などの一部事務組合への負担金や補助金の増により、前年度に比べ増加した。
- ・その他については、庁舎や中学校の維持補修費の微減、国民健康保険事業や公共下水道事業などの特別会計への繰出し金の微増があり、前年度と同様の指数となっている。